事業所名

放課後クラブ いっぽ

支援プログラム

作成日 令和7年 4月1日

法人（事業所）理念		一人一人の子ども達の自己肯定感を高め、自尊心を育む健やかな成長と自立心を養う療育支援を行う。		
支援方針		すべての子ども達を「個人」として尊重し、その自立を支援し「ともに学ぶ、ともに歩く、ともに生きる」ことで社会参加と生きる力を育む。		
営業時間		学期中 13時半～17時半 休業中 9時～15時	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な心身の把握（バイタル・気分のチェック） ・構造化を意識した掲示、配置、支援策 ・ソーシャルスキルトレーニングや応用行動分析による身体的、精神的、社会的支援 など 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチや姿勢保持トレーニングなどの軽い運動 ・散歩 ・作業による指先トレーニング ・ビジョントレーニング ・聴覚過敏のある子ども達を配慮した環境設定 ・音楽（リズム）とのマッチングあそび など 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・時間帯別のタイムテーブルの組み立て ・変化する物質（粘土・スライム等）による感覚の認知形成 ・ブロックなどによる空間把握の認知形成 ・季節変化や興味などの感性形成のための外出 など 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団における気持ちのプレゼンテーション（言語表出） ・障害特性に応じた読み書き ・視覚化したルール、マナーの伝達（絵カードや文字カード） ・コミュニケーションスキル向上のための支援（拡大、代替コミュニケーションツールPECSの利用等） ・読書（読み聞かせ）や動画鑑賞による他者の気持ちを学ぶ機会を設ける 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメントの形成（自尊心や自己肯定感を高める）の取り組み ・共同遊びを通じての役割分担への理解 ・見立て遊び、ごっこ遊び、つもり遊びの汎用 ・一人遊び、平行遊び、連合遊び ・外出により地域との繋がりを絶やさず事業所通所児以外の子ども達との接点を大切に する など 		
家族支援		・家庭での困りごとに寄り添う助言やサポート・延長サービス等	移行支援	・各学校や関係機関との連絡調整、連携等
地域支援・地域連携		・買物学習の実施による地域との繋がり、外出により地域児童との関わりを持つ等	職員の質の向上	・個別児童の支援会議（担当者会議） の質を高める研修等
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・お花見 ・七夕 ・海水浴 ・クリスマス会 ・誕生会 ・遠足等 		